



## HAND イン HAND

第8号 発行日 令和8年8月31日

### 教育振興運動とは...

子ども・家庭・学校・地域・行政の5者が連携し、地域の教育課題の解決に取り組む岩手県独自の教育運動です。矢巾町では、未就学児から高校生までを対象に、未来を担う子どもたちの「生きる力」を育む教育振興運動の推進をおこなっています。

矢巾町教育振興運動は、令和7年度もたくさんの活動を行いました。



R7の活動はこちら▶



▶イメージ図

### 令和8年度の事業計画（一部抜粋）

| 事業名                           | 事業概要                                                                        | 対象                                       |
|-------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|
| 教育振興運動推進委員会・子ども会育成会連合会合同研修会   | 教育振興運動の基本理念について理解を図り、子ども会との連携のもと、地域活動の進め方について学びを深める。                        | 委員<br>振興区事務局長<br>推進幹事<br>推進協力員<br>子育て関係者 |
| 運動の推進                         | 地域における実践活動を推進する。                                                            | 地域の方々                                    |
| 学校運営協議会とともに取り組むコミュニティ・スクールの推進 | 教育振興運動を地域学校協働活動の実動組織と位置づけ、青少年育成団体等との連携・協議を通じて、子どもたちの成長を一貫して見守り育む体制の構築に取り組む。 | 学校運営協議会<br>青少年育成団体<br>社会教育団体             |

など

教育振興運動の良さを活かし、学校運営協議会とともにコミュニティ・スクールを推進してまいります。  
そのために、コミュニティ・スクールの推進に関わる場所は、学校運営協議会と「共通目標」を立て、取り組みます。

教育振興運動推進委員会・学校運営協議会 共通目標

### ふるさと矢巾を基盤に、自ら拓く子どもをみんなで育てる

子どもたちの自律的成長＝生きる力を育むため、5者（子ども・家庭・学校・地域・行政）が連携・協働し、地域と学校の諸課題を共に解決することを通じて、子どもたちの郷土愛とアイデンティティを育み、矢巾町に関わる全ての人の幸せを実現する地域ぐるみの教育を推進する。

「自ら拓く」に込めた3つの意味

#### 挑戦

- 困難にぶち当たっても自分の力で乗り越え、道を切り拓く。
- 自分の信念のもと行動し、成長し続ける自律成長

#### 自己実現

- 自分の才能や資質を、自分自身の手で耕し、実現する。

#### 社会参画

- 自分という存在を社会に活かす。
- ふるさととの未来を自分たちの手で良くしていくようとする当事者意識

## 地域学校協働活動

とは、学校と地域が対等なパートナーとして連携・協力し、子どもたちの成長を支えながら地域全体の活性化を目指す活動であり、従来の「学校支援ボランティア」という一方通行の支援を超え、地域住民や団体が学校運営に参画し、双方向に作用し合う点に大きな特徴があります。



この活動を支える重要な仕組みとして、学校運営に地域の声を反映させる「**学校運営協議会**」があり、ここが学校運営等について話し合う「知恵を出し合う場」として機能する一方で、その方針を具体的なアクションへと移す「実践の柱」となるのが「**地域学校協働活動**」です。

そして、この両者をつなぐ「架け橋」として不可欠な存在が**地域学校協働活動推進員**(通称**コーディネーター**)です。推進員が学校側の教育ニーズと地域の豊かな人材・資源を把握し、放課後子ども教室や授業のサポート、登下校の見守りなどのマッチングや連絡調整を担うことで、子どもたちは多様な大人との交流から社会性を育み、教員はさらに専門性を活かした質の高い教育を展開でき、さらには学校を核とした多世代交流によって地域コミュニティの再生(地域づくり)にも寄与するという、子どもを中心に置いた持続可能な仕組みが実現されます。



地域学校協働活動推進員  
(コーディネーター)

## 矢巾町教育委員会は、令和8年4月から 地域学校協働活動推進員(コーディネーター)を配置しました

矢巾町教育委員会では、現在、2名の地域学校協働活動推進員(コーディネーター)を配置しています。

コーディネーターから地域の皆様へ、「こんなことで困っているのですが、どなたか詳しい方はいませんか?」「地域の歴史についてお話を聞かせてくれませんか?」など、ご相談やお話をお聞きしに伺うことがあります。

ぜひ皆様の知恵や経験を少しずつお貸しいただき、地域全体で子どもたちを育ていけるよう、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

こんにちは！ 私たちが矢巾町の地域学校協働活動推進員(コーディネーター)です★

め が た か の り

女鹿 隆徳 さん

【担当エリア】矢巾中学校区  
(矢巾中・不動小・徳田小・  
煙山小(副担当))



さ さ き え り こ

佐々木 絵梨子 さん

【担当エリア】矢巾北中学校区  
(矢巾北中・矢巾東小・煙山小)



## コーディネーター研修会(座談会)を開催しました

地域学校協働活動推進員(コーディネーター)の資質向上のため、当教育振興運動推進委員会は、令和8年7月3日(金)に研修会を開催しました。

講師には、コミュニティ・スクール先進地である遠野市教育委員会より、主任兼社会教育主事 佐藤 佳代 さん、エリアコーディネーター 新田 依子 さんにお越しいただき、コーディネーターとしての活動、どのような視点で地域、学校に寄り添っているのかなど、貴重なお話を聞きました。

今回の研修で得た学びを活かし、これからもコーディネーターのお二人と手を携え、矢巾町の地域学校協働活動及びコミュニティ・スクールの推進に努めてまいります。

